

元プロ野球選手
と交流

AISHO

野球フェスティバル

8月6日、愛知川ふれ愛スポーツ公園のグラウンドで、元プロ野球選手と交流できるイベント「AISHO野球フェスティバル」が行われました。

このイベントは、秦荘スポーツ少年団野球部と愛知川野球スポーツ少年団で企画されたもので、所属する小学生や町内の子どもたち約70名が参加しました。

イベントの午前の部では、元北海道日本ハムファイターズで現理学療法士の山口 弘佑さんを講師に招き、「怪我なく、高パフォーマンスで投げ続けるには」と題した講習会が行われました。怪我をしにくいトレーニングや投の動作を中心とした野球技術および指導法の向上について、実践を交えながら教えていただきました。

参加した子どもたちは、「将来プロ野球選手になるために必要なことはどんなことですか」「普段の練習ではうまくできるのに試合になると緊張して思うようにできなくて、何かいい方法ありますか」など山口さんへ熱心に尋ねていました。

また、イベントの午後の部では、滋賀県出身の元プロ野球選手の方々と野球を通じた交流会が行われました。

この交流会には、村西 哲幸さん(元横浜DeNAベイスターズ)、島脇 信也さん(元オリックスバファローズ)、西川 純司さん(元埼玉西武ライオンズ)、中西 健太さん(元福岡ソフトバンクホークス)、則本 佳樹さん(元東北楽天ゴールデンイーグルス)、村西 辰彦さん(元北海道日本ハムファイターズ)の6名の方が来られました。

この交流会では、小学生と小さい子どもたちが2つのグループに分かれ、小学生グループは、打つ技術や投げる技術を学び、小さい子どもたちは、Tボールを通して野球にふれあいました。

野球選手になる夢を叶え、野球選手として表舞台に立った元プロ野球選手との交流は、子どもたちに笑顔があふれ、夢や目標を持ってもらえる貴重な機会となりました。



ボールを使った股関節のトレーニングを教えてもらいました。



基本的な姿勢づくりについて教えてもらいました。



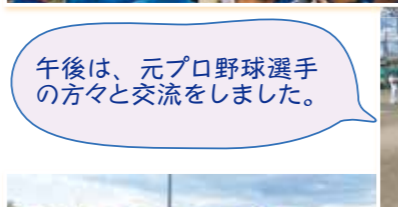
山口さんからバランスチェックをしてもらいました。「バランスいいね!」



山口さんとキャッチボールをする子どもたち。美しい投球フォームにみんな圧倒されました。



山口さんへ普段の練習のことやプロの世界のことなど、気になることをたくさん質問しました。



午後は、元プロ野球選手の方々と交流をしました。



基本的なボールの取扱いについて学びました。



バッティングを目の前で教えてもらいました。



民児協だより 第16号

愛荘町民生委員児童委員協議会
問 民児協事務局:福祉課内(愛知川庁舎)
☎0749-42-7691

今回は、民生委員児童委員の3つの活動の声を紹介します。

障がい者福祉部会 活動報告

8月1日、甲賀市にあるやまなみ工場の視察と研修に参加しました。工場にある福祉事業所では80名の方が就労アートに取り組まれていました。就労アートに取り組む皆さんは「就労アートをしているときに幸せ」と自分自身に満足し、他人との比較や競争をしません。誰にも歪められず自分自身の世界を築きながら表現しています。彼らの作品は主に海外での評価が高く、一作品数十万円で取引されています。

また、愛荘町では障がい者福祉部会が2つの作業所でボランティア活動に参加しています。



▲やまなみ工場での研修の様子



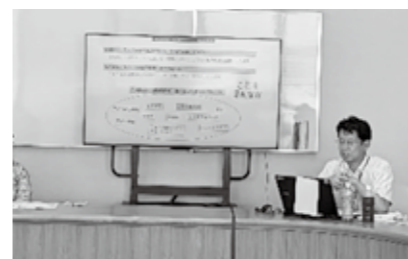
▲就労アート作品

児童福祉部会 活動報告

児童福祉部会では「子育て支援拠点活動・幼稚園保育園活動」として、町内14か所の幼稚園、保育園、子育て支援施設を訪問し、行事のお手伝いをしています。6月から8月にかけては、幼稚園のジャガイモ掘りやカレー作り、保育園の夏祭りや夕涼み会、子育て支援センターでの運動会ごっこなど8か所のお手伝いを通して、子どもたちと保護者がふれあい、有意義な時間を過ごしています。



▲秦川保育園・夕涼み会の様子



▲児童部会研修の様子

また、8月10日には子ども支援課より町の子育て支援施策についての研修がありました。研修を受け、町で行われている事業が子育て支援を必要とされている住民一人ひとりに行き届くよう、私たち民生委員児童委員が相談に応じていきたいと思いました。

高齢者福祉部会 活動報告

コロナ収束の兆しを受けて「ろばた会」を4回開催しました。内容は、介護保険制度、認知症、高齢者虐待、福祉サービスの利用援助です。講師・助言者として、社会福祉協議会、地域包括支援センターの方たちに参加いただきました。開催して、ようやく民生委員の活動が一步踏み出した気がしました。



▲ろばた会の様子